

校訓 生をよるこべ 矩にしたがえ 全力をつくせ	学校教育目標 (1) 広く語らい信頼を深め、自ら啓発し、共に鍛えよう。 (2) 本校の歴史・伝統を踏まえ、理想的な学園の建設に努めよう。 (3) 有為な社会人、国際人となるための教養を高めよう。	育成すべき生徒像 (1) 自ら問いを立て、解決への道筋を探り、新たな価値を生み出そうとする生徒 (2) 粘り強く問い続ける力を持った生徒 (3) 心豊かで、リーダーシップを発揮できる生徒 身に付けさせるべき8つの力 (旭東DPディプロマポリシー) ①認知力 ②分析力 ③思考力 ④表現力 ⑤共感力 ⑥探究力 ⑦行動力 ⑧創造力	学校標語 『シマレ ガンバレ』 (昭和8年制定) 『拳校大和』 (昭和32年制定)
---	---	--	--

- 経営方針**
- 1 教職員一人一人の力を組織として大きな力とし、協働意欲に満ちた活力ある学校づくりに努める。
 - 2 教育活動の改善に結びつく質の高い目標と改善方策の設定を図り、全教職員が一体となって課題解決に努める。
 - 3 保護者・地域からの信頼と支援に応える積極的な情報発信と連携強化に努める。

教育活動

領域	中期目標	今年度目標	目標達成のための具体的方策・評価の観点	関連分掌等
学習指導	主体的に学び、考えを主張し、知的好奇心あふれる生徒の育成	新教育課程への対応	育成すべき生徒像や旭東DPを踏まえた新教育課程の骨子を明らかにするとともに、学習指導方法の改善に向けた組織的、具体的な取り組みが進められたか。	教務部、各教科
		生徒の学習の量的確保と質的向上	生徒が週 1000 分の学習時間を確保できる環境を整えるとともに、主体的に学習に取り組めるよう適切な学習スキルを身に付けさせたか。	教務部、各教科、学年
		生徒の授業満足度の向上と評価の改善	旭東DPを踏まえた上で授業満足度 3.2 を超える取り組みを行い、生徒の学習状況をより的確に把握するために観測別評価の改善を行ったか。	教務部、各教科
		生徒の生涯にわたる知的態度の涵養	読書習慣を身に付けるよう働きかけるとともに、知的刺激が得られる課外活動への理解を深め生徒の参加を積極的に促したか。	教務部、進路指導部、生徒指導部
生徒指導	共通理解と生徒理解の上に立った自覚、責任、自立ある生徒の育成	ルールの順守、マナーやモラルの維持・向上	東高生に相応しい挨拶や服装等の指導、自転車運転や公共交通機関利用のマナー、スマホ利用等の指導が、職員の間で共通理解のもとで適切に行われたか。	生徒指導部、学年
		生徒会活動と旭東 DP との関連付け	本校の生徒会活動と旭東 DP との関連付けを行うとともに、ループリックの作成等により達成度の検証に向けた取組がなされたか。	生徒指導部、学年
		いじめ防止対策等の充実	「学校の基本方針」の検証、見直し及びいじめ防止に関する取組の充実に関する取組がなされるとともに、トラブル発生時の初期対応等に関する適切な研修が行われたか。	生徒指導部、保健相談部、学年
		部活動の在り方に関する理解と改善	「道立学校に係る部活動の方針」を踏まえた本校の活動方針の周知、理解を深めるとともに、本校の持続可能な部活動の在り方について検討が進められたか。	生徒指導部、部顧問
進路指導	進路意識の高揚と実力養成による生徒の進路実現	組織的な進路業務の実施	進路各行事の到達目標（ループリック）に基づいた各行事の効果検証を実施することが出来たか。	進路指導部、学年
		大学入試改革への対応	新しい入試制度に関する情報共有を深め、指導や改善に生かすための校内研修を実施したか。	進路指導部、各教科
		模擬試験等の活用の充実	各模擬試験の役割、指導内容や活用方法、分析の視点を共有化して模擬試験を実施することができたか。	進路指導部、学年、教科
健康・安全指導	自他の生命を尊重できる生徒の育成	個別支援体制の充実	教育相談、特別指導等における組織的な支援、指導の内容の検討など、持続可能な個別支援体制の在り方について検討が進められたか。	保健相談部、学年
		自己管理能力の向上	生徒が抱える学習や部活動、学校行事等に関わる悩み等に対して、学年等との連携のもと適切に対応する組織的な体制の確立に向けた検討がなされたか。	保健相談部、生徒指導部、学年
		危機管理体制の向上	生徒が安心・安全な学校生活を送るための危機管理体制の点検、見直しを実施し、特に地震等非常災害時における対応の体制が整えられたか。	総務部、生徒指導部、保健相談部、事務部

学校経営

領域	中期目標	今年度目標	目標達成のための具体的方策・評価の観点	関連分掌等
地域に信頼される学校作り	保護者や地域からの信頼度の向上	学校評価の充実	課題の重点化、根拠に基づく達成度の検証に重点を置くとともに、中間評価、年度末評価が業務改善に結びつくサイクルが確立されたか。	総務部、各分掌、学年
		地域や保護者に対する情報発信の強化	総合的な探究の時間や学びのフローなど特色ある活動をアップし更新頻度を高め、アクセス数を把握するなどしてその効果の検証が図られたか。	教務部、進路指導部、総務部
		保護者からの信頼度の向上	引き続き全保護者による学校評価アンケートを実施して学校に対する信頼度を把握するとともに、分析・改善による低評価の減少が図られたか。	総務部、各分掌、学年
組織運営	課題共有と解決のための協働体制の確立	会議等の効率化	議題の事前打合せ、説明の簡略化を徹底し、目的が明確な効率の良い会議の実施に努めたか。	総務部
		校内組織の見直し	学級減を見据えた分掌のさらなる再編を含む組織、構成の見直し、校内体制の改善に向けた検討が行われたか。	総務部
		働き方改革への取組	明文化されていない慣例業務のスリム化や業務の平準化、適正な部活動の実施等により業務の効率化、時間外勤務の縮減が図られたか。	総務部、各分掌、学年
教職員の資質向上	本校教職員としての自覚と責任の共有	授業研究・校内研修の充実	新学習指導要領の示すところによる授業改善、教科の目標を達成するための指導力の向上に向けた取組が行われたか。	教務部、各教科
		不祥事を防止する職場環境の保持	モラル違反に対する緊張感や危機感の保持など、不祥事が起こりにくい職場環境を維持するための取組が図られたか。	総務部